

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター



第173号 2018年10月15日

だより

開館時間：午前9時～午後5時（月曜日：休館）

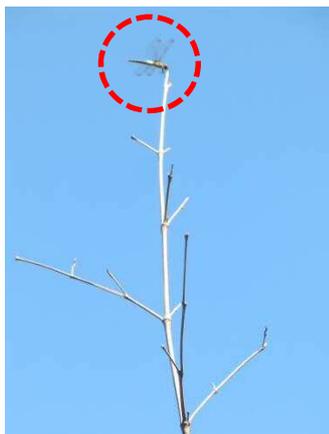
住所：〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話：0538-39-3022 FAX:0538-39-3023



今年の秋は木の枝先のアカトンボに注目！！

夕焼け小焼けの赤とんぼ…♪ アキアカネはアカトンボ(アカネ属)の仲間の代表種です。アキアカネは卵のまま冬を越し、春に田んぼなどで卵からヤゴになり6月ごろに羽化します。初夏になると高い山の方に移動して暑さを避けて過ごしますが、涼しくなると一斉に里へ戻ってきます。みなさんはこの秋、アキアカネを見つけましたか？



左の写真のアキアカネは、かなり上の方に止まっています。みなさんもサクラの木の枝先などを見上げてトンボの姿を探してみてください。

朝、沼の周りで目覚めたアキアカネは、オスとメスがつながって稲刈りが終わった田んぼなどへ産卵に出かけます。昼ごろからは、桶ヶ谷沼の沼べりに立ててある竹ざおにやってきます。さおの先のできるだけ上の方に止まる理由は、体温が高くないよう気をつけているからです。

午後になってユスリカなど小さな虫が飛びはじめると、それをエサとするためアキアカネも飛び回ります。その後アキアカネの姿は見えなくなります。きっとどこかに寝る場所を求めて帰ったのでしょう。



気温が低くなる11月には、日当たりの良い木道や石垣、枯葉の上などに張りつくようにしているアキアカネを見かけます。「日なたぼっこ」をして体温を上げているのです。産卵を終えたアキアカネは、ほとんどは11月末ころまでに死んでしまうようですが、12月になっても日ざしが暖かい日には見かけることもあります。中には年末まで生き延び、まれには年を越して1月に入ってから記録された例もあるそうです。

*** お願い ***

ビジターセンターでは、アカトンボの季節になると、観察路(木道)沿いに竹ざおを立ててアカトンボの数を調べています。来館された際にはぜひご協力ください。

+++ アカトンボ クイズ +++

竹ざおに止まるアカトンボの仲間はナツアカネとアキアカネがほとんどですが、その2種類のメスを区別してみませんか。下の写真はどちらでしょう？
腹はらの下がふくらんでいるのがナツアカネ（左）、腹ひかくてきが比較的スマートなのがアキアカネ（右）です。これなら、竹ざおや木の枝先に止まっても見分けられそうですね。



ぼくはナツアカネ。ナツアカネのオスは頭も胸も全身まっ赤だよ！

桶ヶ谷沼には、ほかにも何種類かアカトンボの仲間が住んでいます。よく見るとそれぞれに特徴(とくちょう)があります。みなさんも秋のトンボを楽しんでみてください。

自然とのふれ合いを

※参加は無料です

申し込みはビジターセンターへ

《行事予定》

◎ キノコ観察会

- * 日程 11月18日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と野外
- * 内容 キノコの説明を受けたあと、桶ヶ谷沼周辺でキノコの観察をします
- * 持ち物 水筒・帽子・野外活動のできる服装



◎ 環境にやさしい工作教室

- * 日程 12月16日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室
- * 内容 自然を材料にした工作を行います
- * 持ち物 作った作品を持ち帰る袋

◎ 野鳥観察会

- * 日程 2019年1月20日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と野外
- * 内容 野鳥の説明を受けたあと、観察小屋からマガモなどの観察をします
- * 持ち物 メモ用紙・帽子・野外活動のできる服装

◎ 冬の昆虫観察会

- * 日程 2019年2月3日(日) 9:30~11:30 (受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と野外
- * 内容 桶ヶ谷沼周辺の樹木に巻いた「わらまき」をはずして、冬越しをしている昆虫の観察をします

※参加対象は、すべて一般です(小学生以下は保護者同伴でお願いします)